

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は、9月5日に各会計の28年度決算の審査を行い、皆さんの税金が効果的かつ適正に使われているか、事業の実施効果はどうだったのか確認しました。

主な質疑の内容をお知らせします。

一般一計

雇用促進事業費補助金

問 町内事業所の補助金の交付実績は。

答 40歳未満の雇用は8事業所で26名、1147万円、40歳から59歳までの雇用は、5事業所で5名、130万円、60歳以上の雇用は、11事業所35名、265万円です。

年々、利用する事業所が増えており、事業所の経営安定に役立っていると考えます。29年度は、

財政運営

40歳未満の補助上限額5万円をなくし、若い世代の給料の引き上げを促進したいと考えています。

問 基金を含めた今後の財政運営の考え方は。

答 町では、人口減少問題への対応として、定住対策、子育て支援対策などに取り組んでいます。その財源を永続的に確保して事業を進めていくことを基本に考えています。

農業後継者等パートナー事業

問 農業後継者等パートナー事業協議会の活動実績は。

答 28年度は、カップル成立等はありませんでした。協議会が発足して6年経過しましたが、その間のカップル成立は2組です。

当協議会は、29年3月に解散し、6月から農業後継者だけでなく、町全体の結婚を支援する、くずまき出会いサポート協議会を新たに立ち上げました。20歳代から30歳代の方10人が委員となり、政策秘書課が所管しています。

高等教育振興事業

問 葛巻高校教育振興協議会の活動評価は。



全国神楽甲子園に出場した葛巻高校郷土芸能部

答 遠距離通学者への補助や通学バスの運行により保護者の負担軽減を図っています。中学生を招待しての芸術鑑賞、予備校講習への参加、英語検定の受験料補助、全国大会出場の部活動助成など、ほかにはない取り組みにより葛巻高校の魅力向上につながっています。

葛巻型DMO形成促進事業

問 昨年度の成果と今年度の見通しは。

答 葛巻型DMOは、町内各種団体や町民で6事業部会を設け、昨年度30回ほど部会を開催し、地域課題について検討しました。観光商品や高校の魅力づくり等に取り組み



くずまき型DMOキックオフミーティングの様子

グリーンテッジ浴室改修

問 水風呂設置と、改修後の浴室利用状況は。

答 水風呂については、今後設置するために、現在準備を進めており、ど

定住住宅

のような浴槽にするのか検討しています。利用者数は、前年同期に比べて1.3～1.5倍に増えています。

問 入居状況と今後の移住定住施策の進め方は。

答 大城・中村・五日市・小田・下町・小屋瀬住宅全体での入居率は81割となっています。需要が高いことから、29年度もさらに2棟を整備する予定です。

マタニティーライフサポート

問 事業利用実績は。

答 出産のために必要な用品等を購入するための5万円の助成は24件ありました。出産準備のため本人、配偶者等が宿泊する費用1万円を上限としている助成は、利用実

特別一計

国保税額

問 国民健康保険の保険者が町から県に移管した後の国保税の見直しは。

答 国民健康保険は、30年4月から県が財政の運営主体となり、市町村は県に納付金を納入します。納付金は、1月に金額が示される予定で、その金額により、市町村ごとに税率を見直します。国の激変緩和措置があるため、国保税の金額は現在と大きく変わらないと思われる。

賛成討論（要約）

山崎 邦廣 議員



28年度一般会計と特別会計の歳入歳出決算を認定することに賛成します。

「安心して子育てができる町づくり」では、多子世帯の保育料軽減や高校生以下の子どもの医療費無料化など、子育て世代を支援する様々な助成制度の充実が図られました。

「町民が住み続けたいまちづくり」では、検診の無料化や各種の保健事業を推進し、町民が健康で生き生きとした生活を送ることができるよう福

祉の充実が図られました。

「産業の振興」では、畜産クラスター協議会を設置し新葛巻型酪農構想の実現に向けて体制整備を図ったほか、収益性の高い酪農経営の実現に向け輸入受精卵移植推進事業により乳牛改良を推進するなど、本町の酪農の品質向上の取り組みも図られました。

一般会計は、各種施策の効果的な実施により、高い行政サービスの提供が図られ、積極性ある財政運営として高く評価します。

特別会計は、それぞれの予算の趣旨に沿った執行がされており、所期の目的が達成したと感じます。

反対討論なし